

ご挨拶



歴史の大転換点だったベルサイユ条約から100年後に勃発したCOVID-19パンデミックは、さながら対ウィルス世界大戦の様相を示しています。おそらく、戦後の世界は大きく変わり、ベルエポックの社会に二度と戻らなかったように、これまでの20世紀の残滓のような社会に戻ることもないでしょう。

ATRが発足した1980年代は、アルビン・トフラーの唱える情報化社会が未来社会と期待されていました。情報機器を活用し、地方に住んでも都会と同じような仕事に就け、個性を互いに尊重し、家庭や地域社会にもっと目を向けた生活ができる社会です。コロナ対策で不自由な在宅作業を余儀なくされている我々にとっては、羨ましい社会です。現実には、人間の付度する性癖から都会への一極集中がさらに進み、個人の孤立感もますます深まってしまいました。

災いを福に転ずるには、これから新しい理想社会の建設に向かわなければなりません。付度しにくいTV会議を使わざるを得ない現状も、このように考えれば、我々の生き方を変える良い思考訓練の場と見なせます。

ATRは、ヘルスケア・医療、生活支援などにおいて重要な「心をつなぐ」先駆的・独創的研究を目標に、脳情報科学、インタラクション科学、無線通信技術、生命科学の分野において国内外の大学や企業などと緊密な連携をはかりながら進めてまいりました。次の社会の一端を支える技術を研究と事業開発と一体となって推進し、設立以来の公益指向の企業理念であるイノベーションや地方創生への貢献を目指しています。

今後とも、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 浅見 徹